

13:45～15:35 主催者ご挨拶 <JICA北海道所長 齊藤顕生>

映画上映

15:35～15:45 休憩・質問用紙回収タイム

15:45～16:45 パネルトーク

「北海道で起こっている気候変動、そしてわたしたちにできること」

17:00 終了 アンケート記入をお願いします

【パネリスト】



環境省北海道環境パートナーシップオフィス(EPO北海道)

大崎 美佳(おおさき・みか)

札幌市出身。環境問題解決の糸口は動物園が最適と思い、環境について学ぶために酪農学園大学生命環境学科入学・卒業。大学時代に海外の方を含めた様々な方との出会い動物園から国際交流へ興味関心が動く。国際分野の団体に3年間所属し、JICA研修事業のコーディネーター等を担当。2015年度から現職。SDGs(持続可能な開発目標)に関連した地域づくりや人材育成を担当し、課題解決のために人や情報をいろいろな形でつなぐ。好きな言葉は「動けば変わる」。



ガイア動物病院 城戸 大樹(きど・たいき)

大阪出身。酪農学園大学獣医学部卒業。学生時代は下北半島サル調査、ヒグマ研究会の活動に参加。大学卒業後は青年海外協力隊に参加。2016年から2018年まで東ティモールの商工環境省に所属し、同国内の約100校への出張授業や、マングローブの植林活動、海岸清掃活動などを行った。帰国後はコンサベーション・インターナショナルのインターンとしてニューカレドニアのマンタプロジェクトに参加。2019年からはガイア動物病院で勤務しながら、支笏湖でのカヤックガイドや環境教育活動を担当。人、動物、環境など、地球を診る獣医師になれるよう勉強中。



JICA地球環境部環境管理グループ 近藤 整(こんどう・せい)

東京都生まれ。長岡技術科学大学で環境システム工学を修了後JICAに就職。国際協力総合研修所(現JICA研究所)で環境管理や気候変動分野の事業方針の検討に関する調査研究業務に従事したほか、2009年～2010年には英国イーストアングリア大学で修士号を取得(気候変動と開発)。その後、インド事務所赴任、財務部、総務部を経て現職。アフリカ地域の廃棄物管理の知見の向上を目指し、現在36カ国65都市が加入する「アフリカのきれいな街プラットフォーム」の事務局や、世界各国の廃棄物管理、排水管理、大気汚染、気候変動等の技術協力等の事業企画・実施管理を担当。

【モデレーター】

JICA北海道 市民参加協力課 野吾 奈穂子(やご・なおこ)

東京都生まれ。津田塾大卒業後、環境庁(現・環境省)を経て2005年にJICAに就職。2008～2009年、地球環境部で中南米・中東・欧州 約10ヶ国の廃棄物、下水、大気汚染プロジェクトを担当。「世界の環境問題は衛生問題と密接に関わっている」と痛感。2009～2013年、フィリピン事務所で沿岸生態系保全や貧困削減、教育の普及に関わり2016年10月、JICA北海道(札幌)に赴任。「持続可能な開発目標(SDGs:エス・ディー・ジーズ)」を多くの人に知ってもらうため、目標を歌詞に盛り込んだ歌を制作した。



主催：JICA北海道（札幌） 共催：さっぽろ健康スポーツ財団

協力：EPO北海道 後援：北海道・札幌市・札幌市教育委員会・RCE北海道道央圏協議会